

平成 16 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 千代田化工建設株式会社
代表社名 取締役社長 関 誠夫
(コード番号 6366 東証第一部)
問合せ先 主計部長 楠 真治
(TEL 045-506-9410)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 5 月 18 日の決算発表時に公表した平成 17 年 3 月期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)の業績予想および配当予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成17年3月期中間個別業績予想の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	85,000	2,700	3,000
今 回 修 正 予 想 (B)	97,000	3,700	4,600
増 減 額 (B - A)	12,000	1,000	1,600
増 減 率 (%)	14.1	37.0	53.3
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 15 年 9 月 中 間 期)	70,703	1,596	735

2. 平成17年3月期中間連結業績予想の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	100,000	3,300	3,400
今 回 修 正 予 想 (B)	115,000	5,000	5,000
増 減 額 (B - A)	15,000	1,700	1,600
増 減 率 (%)	15.0	51.5	47.1
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 15 年 9 月 中 間 期)	88,679	3,011	2,162

3. 平成17年3月期通期個別業績予想の修正（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	185,000	5,800	6,500
今回修正予想（B）	210,000	6,800	7,500
増減額（B - A）	25,000	1,000	1,000
増減率（％）	13.5	17.2	15.4
（ご参考） 前期実績（平成16年3月期）	169,787	4,010	4,255

（ご参考）一株当たり予想当期純利益 39円96銭

4. 平成17年3月期通期連結業績予想の修正（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	220,000	7,100	7,300
今回修正予想（B）	250,000	8,700	8,300
増減額（B - A）	30,000	1,600	1,000
増減率（％）	13.6	22.5	13.7
（ご参考） 前期実績（平成16年3月期）	206,816	6,348	6,646

（ご参考）一株当たり予想当期純利益 44円22銭

5. 平成17年3月期配当予想の修正

（単位：円、％）

	一株当たり年間配当金		
	中間	期末	
前回発表予想（A）	-	3～5	3～5
今回修正予想（B）	-	5	5
増減額（B - A）	-	0	0
増減率（％）	-	0.0	0.0
（ご参考） 前期実績（平成16年3月期）	-	0	0

6. 修正の理由

（中間個別業績予想の修正）

売上高につきましては、順調な工事の進捗および当中間期末の為替レートが期首予想より円安となったことなどを背景に、また、経常利益および中間純利益につきましては、順調な工事の進捗による売上高の増加に加え、営業利益率が改善したことなどを背景にそれぞれ増加する見込みです。

（中間連結業績予想の修正）

中間連結業績予想につきましては、中間個別予想の修正に加え、連結子会社の業績も好調であることなどから、期首の数値を上方修正するものです。売上高では、中間個別業績予想の修正に加えて、主に国内工事子会社の受注増加が寄与する見込みであり、また、経常利益および

中間純利益では、中間個別業績の修正に加えて、主に国内工事子会社の売上高増加および利益率改善が寄与することなどから、それぞれ増加する見込みです。尚、当中間期から減損会計の早期適用しております。

（通期個別業績予想の修正）

通期個別業績予想につきましては、当中間期同様順調な工事進捗を見込む一方、下期の為替レートを期首予想と同じ105円に据え置き、新規受注案件に係る機器・資材の高騰の影響などを考慮し、中間業績予想の修正を踏まえて期首の予想数値を修正するものです。

（通期連結業績予想の修正）

通期連結業績予想につきましては、通期個別業績予想の修正に加え、当中間期に引き続き連結各子会社の順調な工事進捗を見込む一方で、新規受注案件に係る機器・資材の高騰の影響などを考慮し、期首の予想数値を修正するものです。

（配当予想の修正）

期首におきましては3円から5円という幅を持たせた配当予想としておりましたが、通期個別業績予想の修正を踏まえて、配当予想を5円に修正するものです。

7. 見通しに関する注意事項

この資料に記載されている業績見通しは、種々の前提に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

従いまして、これらの見通しのみによりに依拠した判断をされることは控えるようお願い致します。

以 上